

学校コード F147110111736

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前相談

注2

琉球大学大学院 地域共創研究科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人琉球大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合企画戦略部経営戦略課

職名・氏名

係長 クマモト シンヤ
隈元 伸耶

電話番号

098-895-8105

（夜間）

098-895-8105

e-mail

kskikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

地域共創研究科

＜地域共創専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	53

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 琉球大学

(2) 大学名

琉球大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ニシダ ムツミ) 西田 睦 (平成31年4月1日)		
研究科長	(イシハラ マサヒデ) 石原 昌英 (令和4年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
地域共創研究科 地域共創専攻 修士(公共社会、言語表象、経済経営、文化・環境、臨床心理)	文学関係 法学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係	2 年	35 人	年次 人	70 人		基礎となる学部 人文社会学部 国際地域創造学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	35		
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	57		
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	55		
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	38		
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	38		
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.09		1.09倍

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	38	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[9]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	38	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[9]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	38人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{38} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<地域共創研究科 地域共創専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻共通科目	基礎学際融合	研究リテラシー	1前	1		5	2					
		沖縄・島嶼と地域共創	1-2前	1		4	3	1				
		観光・交流と地域共創	1-2前	1		4	2					
		SDGsと地域共創	1後	1		4	1					
	小計(4科目)	-	4	0	0	9	7	1	0	0		
	専攻基礎科目	公共社会基礎	1前	1		7	5					
		経済経営基礎	1前	1		5	3					
		言語表象基礎	1前	1		4						
		文化・環境基礎	1前	1		4	2					
	小計(4科目)	-	0	4	0	20	10	0	0	0		
科選共目択通	協働実践	1後	2		1							
	小計(1科目)	-	0	2	0	1						
特別演習	地域共創特別演習Ⅰ	1前	2		58	21						
	地域共創特別演習Ⅱ	1後	2		58	21						
	地域共創特別演習Ⅲ	2前	2		58	21						
	地域共創特別演習Ⅳ	2後	2		58	21						
	小計(4科目)	-	8	0	0	58	21	0	0	0		
専門科目	法科目群 公共社会プログラム	行政法A	1-2前	2		1						
		行政法B	1-2後	2		1						
		社会保障法特論A	1-2前	2		1						
		社会保障法特論B	1-2後	2		1						
		社会保障法特論C	1-2後	2		1						
		労働法A	1-2前	2		1						
		労働法B	1-2後	2		1						
		労働法C	1-2前	2		1						
		労働法D	1-2後	2		1						
		民事訴訟法特論Ⅰ	1-2前	2		1						
		民事訴訟法特論Ⅱ	1-2後	2		1						
		倒産処理法特論	1-2前	2		1						
		民事執行法特論	1-2後	2		1						
		商法特論A	1-2前	2							兼1	
		商法特論B	1-2後	2							兼1	
		刑事政策Ⅰ	1-2前	2							兼1	
		刑事政策Ⅱ	1-2後	2							兼1	
	小計(17科目)	-	0	34	0	2	2	0	0	0	兼2	
	政治・平和科目群	文化研究A	1-2前	2		1						
		文化研究B	1-2後	2		1						
		地域研究A	1-2前	2		1						
		地域研究B	1-2後	2		1						
国際関係史A		1-2前	2		1							
国際関係史B		1-2後	2		1							
東アジア国際関係論A		1-2前	2		1							
東アジア国際関係論B		1-2後	2		1							
比較政治学A		1-2前	2		1							
比較政治学B		1-2後	2		1							
福祉国家論A		1-2前	2		1							
福祉国家論B	1-2後	2		1								
現代政治分析A	1-2前	2		1								
現代政治分析B	1-2後	2		1								
行政学A	1-2前	2		1								
行政学B	1-2後	2		1								
刑事人権論Ⅰ	1-2前	2		1								
刑事人権論Ⅱ	1-2後	2		1								
沖縄戦後刑法史Ⅰ	1-2前	2		1								
沖縄戦後刑法史Ⅱ	1-2後	2		1								
現代沖縄史	1-2前	2		1								
自治研究	1-2後	2		1								
沖縄政治行政研究Ⅰ	1-2前	2		1								
沖縄政治行政研究Ⅱ	1-2後	2		1								
平和教育学Ⅰ	1-2前	2		1								
平和教育学Ⅱ	1-2後	2		1								
地域学習論Ⅰ	1-2前	2		1								
地域学習論Ⅱ	1-2後	2		1								
小計(28科目)	-	0	56	0	6	1	0	0	0			

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻共通科目	基礎学際融合	研究リテラシー	1前	1		5	2				
		沖縄・島嶼と地域共創	1-2前	1		4	3	1			
		観光・交流と地域共創	1-2前	1		4	2				
		SDGsと地域共創	1後	1		4	1				
	小計(4科目)	-	4	0	0	11	8	1	0	0	
	専攻基礎科目	公共社会基礎	1前	1		7	4				
		経済経営基礎	1前	1		5	3				
		言語表象基礎	1前	1		4					
		文化・環境基礎	1前	1		4	2				
	小計(4科目)	-	0	4	0	20	9	0	0	0	
科選共目択通	協働実践	1後	2		1						
	小計(1科目)	-	0	2	0	1					
特別演習	地域共創特別演習Ⅰ	1前	2		60	18					
	地域共創特別演習Ⅱ	1後	2		60	18					
	地域共創特別演習Ⅲ	2前	2		60	18					
	地域共創特別演習Ⅳ	2後	2		60	18					
	小計(4科目)	-	8	0	0	60	18	0	0	0	
専門科目	法科目群 公共社会プログラム	行政法A	1-2前	2		1					
		行政法B	1-2後	2		1					
		社会保障法特論A	1-2前	2		1					
		社会保障法特論B	1-2後	2		1					
		社会保障法特論C	1-2後	2		1					
		労働法A	1-2前	2		1					
		労働法B	1-2後	2		1					
		労働法C	1-2前	2		1					
		労働法D	1-2後	2		1					
		民事訴訟法特論Ⅰ	1-2前	2		1					
		民事訴訟法特論Ⅱ	1-2後	2		1					
		倒産処理法特論	1-2前	2		1					
		民事執行法特論	1-2後	2		1					
		商法特論A	1-2前	2							兼1
		商法特論B	1-2後	2							兼1
		刑事政策Ⅰ	1-2前	2							兼1
		刑事政策Ⅱ	1-2後	2							兼1
	小計(17科目)	-	0	34	0	3	1	0	0	0	兼2
	政治・平和科目群	文化研究A	1-2前	2		1					
		文化研究B	1-2後	2		1					
		地域研究A	1-2前	2		1					
		地域研究B	1-2後	2		1					
国際関係史A		1-2前	2		1						
国際関係史B		1-2後	2		1						
東アジア国際関係論A		1-2前	2		1						
東アジア国際関係論B		1-2後	2		1						
比較政治学A		1-2前	2		1						
比較政治学B		1-2後	2		1						
福祉国家論A		1-2前	2		1						
福祉国家論B	1-2後	2		1							
現代政治分析A	1-2前	2		1							
現代政治分析B	1-2後	2		1							
行政学A	1-2前	2		1							
行政学B	1-2後	2		1							
刑事人権論Ⅰ	1-2前	2		1							
刑事人権論Ⅱ	1-2後	2		1							
沖縄戦後刑法史Ⅰ	1-2前	2		1							
沖縄戦後刑法史Ⅱ	1-2後	2		1							
現代沖縄史	1-2前	2		1							
自治研究	1-2後	2		1							
沖縄政治行政研究Ⅰ	1-2前	2		1							
沖縄政治行政研究Ⅱ	1-2後	2		1							
平和教育学Ⅰ	1-2前	2		1							
平和教育学Ⅱ	1-2後	2		1							
地域学習論Ⅰ	1-2前	2		1							
地域学習論Ⅱ	1-2後	2		1							
小計(28科目)	-	0	56	0	6	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	
社会・社会福祉科目群	国際社会学A	1-2前	2	1							
	国際社会学B	1-2後	2	1							
	社会福祉方法論 I	1-2前	2	1							
	社会福祉方法論 II	1-2後	2	1							
	持続社会支援論A	1-2前	2	1							
	持続社会支援論B	1-2後	2	1							
	社会情報学 I	1-2前	2		1						
	社会情報学 II	1-2後	2		1						
	観光地域社会学	1-2後	2	1							
	労働社会学A	1-2前	2	1							
	労働社会学B	1-2後	2	1							
	運動指導支援特論 I	1-2前	2	1							
	運動指導支援特論 II	1-2後	2	1							
	身体発達科学特論 I	1-2前	2	1							
	身体発達科学特論 II	1-2後	2	1							
	健康心理・行動学特論 I	1-2前	2	1							
	健康心理・行動学特論 II	1-2後	2	1							
	運動学習支援特論 I	1-2前	2	1							
	運動学習支援特論 II	1-2後	2	1							
	健康文化論	1-2後	2	1							
	健康疫学特論 I	1-2前	2	1							
	健康疫学特論 II	1-2後	2	1							
	身体運動科学特論 I	1-2前	2	1							
	身体運動科学特論 II	1-2後	2	1							
	身体文化論	1-2前	2	1							
	子ども学特論 I	1-2前	2	1							
	子ども学特論 II	1-2後	2	1							
小計(27科目)	-	-	0	54	0	7	6	0	0	0	
経済経営プログラム	ミクロ経済学	1-2前	2	1							
	マクロ経済学	1-2前	2	1	1						
	マクロ経済分析	1-2後	2	1	1						
	情報処理特論	1-2前	2	1							
	統計学特論	1-2前	2	1	1						
	計量経済学特論	1-2後	2	1	1						
	データサイエンス特論	1-2前	2	1							
	財政学特論	1-2前	2	1							
	地方財政論特論	1-2後	2	1							
	現代金融特論	1-2前	2	1							
	金融システム特論	1-2後	2	1							
	金融論特論	1-2前	2	1							
	現代貨幣理論	1-2後	2	1							
	国際経済政策特論	1-2前	2	1							
	国際経済政策演習	1-2後	2	1							
	開発経済学特論	1-2前	2	1							
	開発経済学演習	1-2後	2	1							
	経済システムと政策分析特論	1-2前	2	1							
	経済システムと政策分析演習	1-2後	2	1							
	社会政策特論	1-2前	2	1							
	社会政策演習	1-2後	2	1							
	現代社会システム理論特論	1-2前	2	1							
	現代社会システム理論演習	1-2後	2	1							
	日本経済史特論	1-2前	2	1							
	日本経済史演習	1-2後	2	1							
	環境経済学特論A	1-2前	2	1							
	環境経済学特論B	1-2後	2	1							
	大学組織特論	1-2前	2	1							
	大学教育マネジメント特論	1-2後	2	1							
小計(29科目)	-	-	0	58	0	8	8	0	0	0	
経営科目群	ファイナンス論基礎	1-2前	2	1							
	ファイナンス論応用	1-2後	2	1							
	現代会計論	1-2前	2	1							
	会計システム論	1-2後	2	1							
	サプライチェーン・マネジメント	1-2前	2	1							
	日本流通特論	1-2後	2	1							
	人的資源管理特論	1-2後	2	1							
	組織行動特論	1-2前	2	1							
	マーケティング研究	1-2前	2	1							
	マーケティング・コミュニケーション研究	1-2後	2	1							
小計(10科目)	-	-	0	20	0	3	2	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	
社会・社会福祉科目群	国際社会学A	1-2前	2	1							
	国際社会学B	1-2後	2	1							
	社会福祉方法論 I	1-2前	2	1							
	社会福祉方法論 II	1-2後	2	1							
	持続社会支援論A	1-2前	2	1							
	持続社会支援論B	1-2後	2	1							
	社会情報学 I	1-2前	2		1						
	社会情報学 II	1-2後	2		1						
	観光地域社会学	1-2後	2	1							
	労働社会学A(未開講)	1-2前	2	1							
	労働社会学B	1-2後	2	1							
	運動指導支援特論 I(未開講)	1-2前	2	1							
	運動指導支援特論 II	1-2後	2	1							
	身体発達科学特論 I(未開講)	1-2前	2	1							
	身体発達科学特論 II	1-2後	2	1							
	健康心理・行動学特論 I(未開講)	1-2前	2	1							
	健康心理・行動学特論 II	1-2後	2	1							
	運動学習支援特論 I(未開講)	1-2前	2	1							
	運動学習支援特論 II	1-2後	2	1							
	健康文化論	1-2後	2	1							
	健康疫学特論 I(未開講)	1-2前	2	1							
	健康疫学特論 II	1-2後	2	1							
	身体運動科学特論 I(未開講)	1-2前	2	1							
	身体運動科学特論 II	1-2後	2	1							
	身体文化論	1-2前	2	1							
	子ども学特論 I	1-2前	2	1							
	子ども学特論 II	1-2後	2	1							
小計(27科目)	-	-	0	54	0	7	6	0	0	0	
経済経営プログラム	ミクロ経済学(未開講)	1-2前	2	1							
	マクロ経済学(未開講)	1-2前	2	1	1						
	マクロ経済分析	1-2後	2	1	1						
	情報処理特論(未開講)	1-2前	2	1							
	統計学特論(未開講)	1-2前	2	1	1						
	計量経済学特論	1-2後	2	1	1						
	データサイエンス特論	1-2前	2	1							
	財政学特論(未開講)	1-2前	2	1							
	地方財政論特論	1-2後	2	1							
	現代金融特論(未開講)	1-2前	2	1							
	金融システム特論	1-2後	2	1							
	金融論特論(未開講)	1-2前	2	1							
	現代貨幣理論	1-2後	2	1							
	国際経済政策特論(未開講)	1-2前	2	1							
	国際経済政策演習	1-2後	2	1							
	開発経済学特論	1-2前	2	1							
	開発経済学演習	1-2後	2	1							
	経済システムと政策分析特論	1-2前	2	1							
	経済システムと政策分析演習	1-2後	2	1							
	社会政策特論(未開講)	1-2前	2	1							
	社会政策演習	1-2後	2	1							
	現代社会システム理論特論(未開講)	1-2前	2	1							
	現代社会システム理論演習	1-2後	2	1							
	実践社会政策特論	1-2後	2	1							
	日本経済史特論(未開講)	1-2前	2	1							
	日本経済史演習	1-2後	2	1							
	環境経済学特論A(未開講)	1-2前	2	1							
	環境経済学特論B	1-2後	2	1							
	大学組織特論(未開講)	1-2前	2	1							
大学教育マネジメント特論	1-2後	2	1								
小計(30科目)	-	-	0	60	0	9	7	0	0	0	
経営科目群	ファイナンス論基礎(未開講)	1-2前	2	1							
	ファイナンス論応用	1-2後	2	1							
	現代会計論(未開講)	1-2前	2	1							
	会計システム論	1-2後	2	1							
	サプライチェーン・マネジメント(未開講)	1-2前	2	1							
	日本流通特論	1-2後	2	1							
	人的資源管理特論	1-2後	2	1							
	組織行動特論(未開講)	1-2前	2	1							
	マーケティング研究	1-2前	2	1							
	マーケティング・コミュニケーション研究	1-2後	2	1							
小計(10科目)	-	-	0	20	0	3	2	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床心理プログラム	臨床心理学特論Ⅰ	1前	2			1						
	臨床心理学特論Ⅱ	1後	2			1						
	臨床心理面接特論Ⅰ(⑦心理支援に関する理論と実践)	1前	2			1						
	臨床心理面接特論Ⅱ	1後	2			1						
	臨床心理査定演習Ⅰ(⑥心理アセスメントに関する理論と実践)	1前	2			1						
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後	2			1						
	臨床心理学基礎実習Ⅰ	1前	2			3	3	1				
	臨床心理学基礎実習Ⅱ	1後	2			3	3	1				
	臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実習Ⅲ(⑩-3))	2前	2			3	3	1				
	臨床心理学実習Ⅱ	2後	2			3	3	1				
	心理学研究法特論(A)	1前	2			4	1					
	心理学統計法特論(A)	1後	2			1						
	認知心理学特論(B)	1前	2									
	学習心理学特論Ⅰ(B)	1前	2			1						
	学習心理学特論Ⅱ(B)	1後	2			1						
	教育心理学特論Ⅰ(B)	1前	2			1						
	教育心理学特論Ⅱ(B)	1後	2			1						
	発達心理学特論Ⅰ(B)	2前	2			1						
	発達心理学特論Ⅱ(B)	2後	2			1						
	社会心理学特論Ⅰ(C)	1前	2			1						
	社会心理学特論Ⅱ(C)	1後	2			1						
	コミュニティ心理学特論Ⅰ(C)	1前	2			1						
	コミュニティ心理学特論Ⅱ(C)	1後	2			1						
	精神医学特論(D)(①保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1前	2			1						
	老年心理学特論(D)	1後	2			1						
	グループアプローチ特論Ⅱ(E)	2前	2			1						
	学校臨床心理学特論Ⅱ(E)	2後	2				1					
	認知行動療法特論(E)	1後	2			1						
	障害者(児)心理学特論(②福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後	2			1						
	学校臨床心理学特論Ⅰ(③教育分野に関する理論と支援の展開)	2前	2				1					
	犯罪心理学特論(C)(④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2前	2			1						
	産業心理学特論(⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2後	2			1						
	グループアプローチ特論Ⅰ(⑧家族関係・集団・地域社会における理論と支援の展開)	1前	2			1						
	心の健康教育特論(⑨心の健康教育に関する理論と支援の展開)	2前	2			1						
	心理実践実習Ⅰ(⑩-1)	1前	2			3	3	1				
	心理実践実習Ⅱ(⑩-2)	1後	2			3	3	1				
	心理実践実習Ⅳ(⑩-4)	2後	2			3	3	1				
小計(37科目)	-	-	20	54	0	5	6	1	0	0	兼1	
合計(293科目)	-	-	32	546	0	63	49	3	0	0	兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床心理プログラム	臨床心理学特論Ⅰ	1前	2			1						
	臨床心理学特論Ⅱ	1後	2			1						
	臨床心理面接特論Ⅰ(⑦心理支援に関する理論と実践)	1前	2			1						
	臨床心理面接特論Ⅱ	1後	2			1						
	臨床心理査定演習Ⅰ(⑥心理アセスメントに関する理論と実践)	1前	2			1						
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後	2			1						
	臨床心理学基礎実習Ⅰ	1前	2			2	3	2				
	臨床心理学基礎実習Ⅱ	1後	2			2	3	2				
	臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実習Ⅲ(⑩-3))	2前	2			2	3	2				
	臨床心理学実習Ⅱ	2後	2			2	3	2				
	心理学研究法特論(A)	1前	2			3	1	1				
	心理学統計法特論(A)	1後	2			1						
	認知心理学特論(B)	1前	2									
	学習心理学特論Ⅰ(B)(未開講)	1前	2			1						
	学習心理学特論Ⅱ(B)	1後	2			1						
	教育心理学特論Ⅰ(B)	1前	2			1						
	教育心理学特論Ⅱ(B)	1後	2			1						
	発達心理学特論Ⅰ(B)	2前	2			1						
	発達心理学特論Ⅱ(B)	2後	2			1						
	社会心理学特論Ⅰ(C)	1前	2			1						
	社会心理学特論Ⅱ(C)	1後	2			1						
	コミュニティ心理学特論Ⅰ(C)	1前	2			1						
	コミュニティ心理学特論Ⅱ(C)	1後	2			1						
	精神医学特論(D)(①保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1前	2			1						
	老年心理学特論(D)	1後	2			1						
	グループアプローチ特論Ⅱ(E)	2前	2			1						
	学校臨床心理学特論Ⅱ(E)	2後	2				1					
	認知行動療法特論(E)	1後	2					1				
	障害者(児)心理学特論(②福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後	2			1						
	学校臨床心理学特論Ⅰ(③教育分野に関する理論と支援の展開)	2前	2				1					
	犯罪心理学特論(C)(④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2前	2			1						
	産業心理学特論(⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2後	2			1						
	グループアプローチ特論Ⅰ(⑧家族関係・集団・地域社会における理論と支援の展開)	1前	2			1						
	心の健康教育特論(⑨心の健康教育に関する理論と支援の展開)	2前	2					1				
	心理実践実習Ⅰ(⑩-1)	1前	2			2	3	2				
	心理実践実習Ⅱ(⑩-2)	1後	2			2	3	2				
	心理実践実習Ⅳ(⑩-4)	2後	2			2	3	2				
小計(37科目)	-	-	20	54	0	4	6	2	0	0	兼1	
合計(296科目)	-	-	32	552	0	65	48	3	0	0	兼4	

<p>【修了要件】 (修士論文コース) 研究科に2年(優れた業績を上げた者は1年)以上在学し、公共社会、経済経営、言語表象、文化・環境の各プログラムにおいては必修科目14単位、選択科目16単位以上、臨床心理プログラムにおいては必修科目32単位、選択科目10単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>(特定課題コース) 本コースは、公共社会、経済経営、言語表象、文化・環境の各プログラムに設ける。研究科に2年(優れた業績を上げた者は1年)以上在学し、必修科目14単位、選択科目22単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、リサーチペーパーの審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>【履修方法】 (修士論文コース) 必修科目は、公共社会、経済経営、言語表象、文化・環境の各プログラムにおいては学際融合基礎科目4単位、専攻基礎科目2単位(自プログラムの科目1単位、他プログラムの科目から1単位)、特別演習8単位、臨床心理プログラムにおいては学際融合基礎科目4単位、自プログラムの必修科目20単位、特別演習8単位履修すること。 選択科目は、公共社会、経済経営、言語表象、文化・環境の各プログラムにおいては自プログラムの専門科目から12単位以上(各科目群からそれぞれ2単位以上)と、自プログラムの専門科目を含む専攻内全科目から4単位以上、合計16単位以上、臨床心理プログラムにおいては自プログラムの専門科目から10単位以上履修すること。</p> <p>(特定課題コース) 必修科目は、学際融合基礎科目4単位、専攻基礎科目2単位(自プログラムの科目1単位、他プログラムの科目から1単位)、特別演習8単位履修すること。 選択科目は、自プログラムの専門科目から16単位以上(各科目群からそれぞれ2単位以上)と、自プログラムの専門科目を含む専攻内全科目から6単位以上、合計22単位以上履修すること。</p>

<p>【修了要件】 (修士論文コース) 研究科に2年(優れた業績を上げた者は1年)以上在学し、公共社会、経済経営、言語表象、文化・環境の各プログラムにおいては必修科目14単位、選択科目16単位以上、臨床心理プログラムにおいては必修科目32単位、選択科目10単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>(特定課題コース) 本コースは、公共社会、経済経営、言語表象、文化・環境の各プログラムに設ける。研究科に2年(優れた業績を上げた者は1年)以上在学し、必修科目14単位、選択科目22単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、リサーチペーパーの審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>【履修方法】 (修士論文コース) 必修科目は、公共社会、経済経営、言語表象、文化・環境の各プログラムにおいては学際融合基礎科目4単位、専攻基礎科目2単位(自プログラムの科目1単位、他プログラムの科目から1単位)、特別演習8単位、臨床心理プログラムにおいては学際融合基礎科目4単位、自プログラムの必修科目20単位、特別演習8単位履修すること。 選択科目は、公共社会、経済経営、言語表象、文化・環境の各プログラムにおいては自プログラムの専門科目から12単位以上(各科目群からそれぞれ2単位以上)と、自プログラムの専門科目を含む専攻内全科目から4単位以上、合計16単位以上、臨床心理プログラムにおいては自プログラムの専門科目から10単位以上履修すること。</p> <p>(特定課題コース) 必修科目は、学際融合基礎科目4単位、専攻基礎科目2単位(自プログラムの科目1単位、他プログラムの科目から1単位)、特別演習8単位履修すること。 選択科目は、自プログラムの専門科目から16単位以上(各科目群からそれぞれ2単位以上)と、自プログラムの専門科目を含む専攻内全科目から6単位以上、合計22単位以上履修すること。</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 准教授から教授昇任の理由により、「SDGsと地域共創」の専任教員配置を「教授4」から「教授5」に「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 退職准教授1人の理由により「公共社会基礎」の専任教員配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
- ・ 退職教授1人、退職准教授1人、新採用教授1人及び准教授から教授昇任2人の理由により、「地域共創特別演習Ⅰ～Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授58」から「教授60」へ「准教授21」から「准教授18」に変更。
- ・ 准教授から教授昇任の理由により「労働法A～D」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 退職准教授1人の理由により「現代政治分析A、B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 准教授から教授昇任の理由により「開発経済学特論」、「開発経済学演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 地域公共政策士科目提供の理由により「実践社会政策特論」を追加。
- ・ 担当教員体調不良の理由により「サブライチエーン・マネジメント」の開講を今年度は「前学期」から「後学期」に変更。
- ・ 科目担当及び研究指導資格を有する新任教員が着任、研究指導・科目履修を希望する学生が入学した理由により、「琉球近世史特論Ⅰ、Ⅱ」を新設。
- ・ 講師から准教授昇任の理由により、「言語教育における質的研究Ⅰ、Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に「講師0」に変更。
- ・ 退職准教授1人の理由により、「島嶼人口特論A、B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 退職教授1人及び講師1人採用の理由により、「臨床心理学基礎実習Ⅰ、Ⅱ」、「臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実習Ⅲ(10-3))」、「臨床心理学実習Ⅱ」、「神事実践実習Ⅰ～Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に「講師1」から「講師2」に変更。
- ・ 退職教授1人講師1人採用の理由により「認知行動療法特論(E)」、「心の健康教育特論(⑨心の健康教育に関する理論と支援の展開)」専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に「講師0」から「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	275 科目	0 科目	293 科目	18 科目 []	278 科目 [3]	0 科目 []	296 科目 [3]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	社会保障法特論C	2	1・2後	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
2	労働法C	2	1・2前	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
3	労働法D	2	1・2後	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
4	民事訴訟法特論 I	2	1・2前	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
5	民事訴訟法特論 II	2	1・2後	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
6	商法特論A	2	1・2前	専門	選択	開講学期訂正・後学期開講予定
7	商法特論B	2	1・2後	専門	選択	次年度開講予定
8	国際関係史A	2	1・2前	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
9	国際関係史B	2	1・2後	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
10	福祉国家論A	2	1・2前	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
11	福祉国家論B	2	1・2後	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
12	行政学A	2	1・2前	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
13	行政学B	2	1・2後	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
14	沖縄戦後刑法史 I	2	1・2前	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
15	沖縄戦後刑法史 II	2	1・2後	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
16	沖縄政治行政研究 I	2	1・2前	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
17	沖縄政治行政研究 II	2	1・2後	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
18	地域学習論 I	2	1・2前	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
19	地域学習論 II	2	1・2後	専門	選択	隔年開講・次年度開講予定
20	実践哲学A	2	1・2前	専門	選択	2年次履修・次年度開講予定
21	実践哲学B	2	1・2後	専門	選択	2年次履修・次年度開講予定
22	教育人間学・社会学C	2	1・2前	専門	選択	2年次履修・次年度開講予定
23	教育人間学・社会学D	2	1・2後	専門	選択	2年次履修・次年度開講予定
24	英米実践哲学 I	2	1・2前	専門	選択	2年次履修・次年度開講予定
25	英米実践哲学 II	2	1・2後	専門	選択	2年次履修・次年度開講予定
26	現地研究 II	2	1・2後	専門	選択	主に2年次を対象とするため・次年度開講予定
27	島嶼旅行者行動論	2	1・2前	専門	選択	1・2年次共に履修することがより効果的であるため・次年度開講予定
28	サプライチェーン・マネ	2	1・2前	専門	選択	担当教員体調不良・後学期開講予定

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は、主に隔年開講とするものであり、今年度は開講しないものであり、次年度開講するものである。また、1, 2年次に同時受講することで効果が見られることから学修機会の増加を図った科目もある。学生の履修に影響があるものではない。
周知方法については、オリエンテーションでの説明及び指導教員の指導等により学生に周知を行う。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{28}{293} = \boxed{9.55}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	535,870 m ²	0 m ²	0 m ²	535,870 m ²				
	運動場用地	93,280 m ²	0 m ²	0 m ²	93,280 m ²				
	小 計	629,150 m ²	0 m ²	0 m ²	629,150 m ²				
	そ の 他	6,165,932 m ²	0 m ²	0 m ²	6,165,932 m ²				
	合 計	6,795,082 m ²	0 m ²	0 m ²	6,795,082 m ²				
(2) 校舎	専 用	171,860 m ²	0 m ²	0 m ²	171,860 m ²	大学全体			
	(171,860 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(171,860 m ²)					
(3) 教室等	講義室		演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 用途変更(4)		
	130 室 128 室	187 室 170 室	626 室 672 室	30 室 28 室 (補助職員 0人)	9 室 7 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		用途変更(4)			
	大学全体			676 653 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位で特定不能なため、大学全体の数	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	大学全体	964,625 [295,523] 971,079 [300,401] 964,625 [295,523] 971,079 [300,401]	54,102 [39,729] 52,953 [38,388] 54,102 [39,729] 52,953 [38,388]	32,409 [32,405] 30,979 [30,975] 32,409 [32,405] 30,979 [30,975]	8,019 7,950 8,019 7,950	2,340 (2,340)	280 (280)		
	計	964,625 [295,523] 971,079 [300,401] 964,625 [295,523] 971,079 [300,401]	54,102 [39,729] 52,953 [38,388] 54,102 [39,729] 52,953 [38,388]	32,409 [32,405] 30,979 [30,975] 32,409 [32,405] 30,979 [30,975]	8,019 7,950 8,019 7,950	2,340 (2,340)	280 (280)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	11,370 m ²		1,028 席		1,168,910 1,164,886 冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	5,473 m ²		野球場1面		テニスコート10面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	琉 球 大 学					学生募集停止学科数	13	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
【学部】											
法文学部											
総合社会システム学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士(法学、経済学、政策科学・国際関係論)	-	-	-	平成9	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	平成30年学生募集停止
総合社会システム学科(夜間主コース)	4	-	-	-	学士(法学、経済学、政策科学・国際関係論)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止
人間科学科	4	-	-	-	学士(人文社会)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止
国際言語文化学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士(人文学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止
国際言語文化学科(夜間主コース)	4	-	-	-	学士(人文学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止
人文社会学部											
国際法政学科	4	80	3年次4	328	学士(法学、政策科学・国際関係論)	1.02	1.00	-	平成30	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
人間社会学科	4	80	3年次4	328	学士(人文社会)	1.02	1.03	-	平成30	同上	
琉球アジア文化学科	4	40	3年次2	164	学士(人文社会)	1.02	1.02	-	平成30	同上	
観光産業科学部											
観光科学科	4	-	-	-	学士(観光学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止
産業経営学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止
産業経営学科(夜間主コース)	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止
国際地域創造学部											
国際地域創造学科(昼間主コース)	4	265	3年次8	1076	学士(観光学、経営学、経済学、人文学)	1.01	1.02	-	平成30	同上	
国際地域創造学科(夜間主コース)	4	80	3年次12	344	学士(経営学、経済学、人文学)	1.02	1.03	-	平成30	同上	
教育学部											
学校教育教員養成課程	4	140	-	560	学士(教育学)	1.01	1.00	-	平成11	同上	
生涯教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成11	同上	平成29年学生募集停止
理学部											
数理科学科	4	40	-	160	学士(理学)	1.01	1.00	-	平成8	同上	
物質地球科学科	4	65	-	260	学士(理学)	1.05	1.00	-	平成8	同上	
海洋自然科学科	4	95	-	380	学士(理学)	1.02	1.01	-	平成8	同上	

大学の名称	琉球大学						学生募集停止学科数	13	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
医学部											
医学科	6	112	2年次5	697	学士(医学)	1.00	1.00	令和4	昭和54	沖縄県中頭郡西原町字上原207番地	定員変更(12)
保健学科	4	60	-	240	学士(保健学)	1.00	1.00	-	昭和56	同上	
工学部											
機械システム工学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成5	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	平成29年学生募集停止
環境建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成5	同上	平成29年学生募集停止
電気電子工学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成5	同上	平成29年学生募集停止
電気電子工学科(夜間主コース)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成5	同上	平成29年学生募集停止
工学科	4	350	3年次20	1440	学士(工学)	1.01	1.00	-	平成29	同上	
農学部											
亜熱帯地域農学科	4	35	-	140	学士(農学)	1.03	1.00	-	平成21	同上	
亜熱帯農林環境科学科	4	35	-	140	学士(農学)	1.04	1.02	-	平成21	同上	
地域農業工学科	4	25	-	100	学士(農学)	1.02	1.08	-	平成21	同上	
亜熱帯生物資源科学科	4	45	3年次5	190	学士(農学)	1.02	1.06	-	平成21	同上	
大学全体	4・6	1547	60	6547	-	1.01	1.01	-	-	-	

大学の名称	琉球大学大学院					学生募集停止学科数	10	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	6	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【大学院】											
人文社会科学研究科											
〈博士前期課程〉											
総合社会システム専攻	2	-	-	17	修士 (法学、政治学、経済学、経営学、社会学、教育学、心理学、哲学、文学、歴史)	-	-	-	平成13	同上	令和4年学生募集停止
人間科学専攻	2	-	-	16		-	-	-	平成13	同上	令和4年学生募集停止
国際言語文化専攻	2	-	-	12		-	-	-	平成13	同上	令和4年学生募集停止
〈博士後期課程〉											
比較地域文化専攻	3	4	-	12	博士 (学術)	0.58	0.50	-	平成18	同上	
観光科学研究科											
〈修士課程〉											
観光科学専攻	2	-	-	6	修士 (観光学)	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止
地域共創研究科											
〈修士課程〉											
地域共創専攻	2	35	-	35	修士 (公共社会、経済経営、言語表意、文化・環境、臨床心理)	1.09	1.09	-	令和4	同上	
教育学研究科											
〈修士課程〉											
学校教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成2	同上	令和2年学生募集停止
教科教育専攻	2	-	-	-		-	-	平成31	平成2	同上	令和2年学生募集停止
〈専門職学位課程〉											
高度教職実践専攻	2	20	-	40	教職 修士 (専門職)	1.03	1.00	-	平成28	同上	
医学研究科											
〈修士課程〉											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.54	0.40	-	平成16	沖縄県中頭郡西原町字上原207番地	
〈博士課程〉											
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.81	0.70	-	平成26	同上	
保健学研究科											
〈博士前期課程〉											
保健学専攻	2	10	-	20	修士 (保健学)	0.40	0.70	-	昭和61	同上	
〈博士後期課程〉											
保健学専攻	3	3	-	9	博士 (保健学)	1.33	2.00	-	平成19	同上	

大学の名称	琉球大学大学院					学生募集停止学科数	10	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	6	備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
理工学研究科												
〈博士前期課程〉												
機械システム工学専攻	2	-	-	-		-	-	-	平成9	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	令和3年学生募集停止	
環境建設工学専攻	2	-	-	-		-	-	-	平成9		同上	令和3年学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	-		-	-	-	平成9		同上	令和3年学生募集停止
情報工学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、工学)	-	-	-	平成9		同上	令和3年学生募集停止
数理学専攻	2	10	-	20		1.35	0.80	-	平成10		同上	
物質地球科学専攻	2	16	-	32		0.97	0.69	-	平成10		同上	
海洋自然科学専攻	2	26	-	52		1.31	1.38	-	平成10		同上	
工学専攻	2	93	-	186		1.04	1.06	-	令和3		同上	
〈博士後期課程〉												
生産エネルギー工学専攻	3	4	-	12		1.42	2.00	-	平成9	同上		
総合知能工学専攻	3	3	-	9	博士 (理学、工学、学術)	2.89	3.00	-	平成9	同上		
海洋環境学専攻	3	5	-	15		1.93	2.20	-	平成10	同上		
農学研究科												
〈修士課程〉												
亜熱帯農学専攻	2	35	-	70	修士 (農学)	0.49	0.94	-	平成23	同上		
法務研究科												
〈専門職学位課程〉												
法務専攻	3	16	-	48	法務博士 (専門職)	0.87	0.94	-	平成16	同上		
大学院全体	2・3・4	325	-	761	-	0.89	1.02	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<地域共創研究科 地域共創専攻（修士課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	二宮 元 (44) <令和4年4月> 博士(社会学)
		比較政治学A 【隔年】 比較政治学B 【隔年】 福祉国家論A 【隔年】 福祉国家論B 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	金 成浩 (58) <令和4年4月> 修士(国際関係)
		公共社会基礎 ※ 国際関係史A 【隔年】 国際関係史B 【隔年】 東アジア国際関係論A 【隔年】 東アジア国際関係論B 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	阿部 小涼 (54) <令和4年4月> 修士(社会学)
		文化研究A 【隔年】 文化研究B 【隔年】 地域研究A 【隔年】 地域研究B 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	二宮 元 (44) <令和4年4月> 博士(社会学)
		比較政治学A 【隔年】 比較政治学B 【隔年】 福祉国家論A 【隔年】 福祉国家論B 【隔年】 現代政治分析A 【隔年】 現代政治分析B 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	金 成浩 (58) <令和4年4月> 修士(国際関係)
		公共社会基礎 ※ 国際関係史A 【隔年】 国際関係史B 【隔年】 東アジア国際関係論A 【隔年】 東アジア国際関係論B 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	阿部 小涼 (54) <令和4年4月> 修士(社会学)
		文化研究A 【隔年】 文化研究B 【隔年】 地域研究A 【隔年】 地域研究B 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	島袋 純 (60) <令和4年4月> 博士(政治学)
		沖縄・島嶼と地域共創 ※ 公共社会基礎 ※ 現代沖縄史 【隔年】 自治研究 【隔年】 沖縄政治行政研究Ⅰ 【隔年】 沖縄政治行政研究Ⅱ 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	山口 剛史 (50) <令和4年4月> 修士(教育学)
		公共社会基礎 ※ 平和教育学Ⅰ 【隔年】 平和教育学Ⅱ 【隔年】 地域学習論Ⅰ 【隔年】 地域学習論Ⅱ 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	森川 恭剛 (55) <令和4年4月> 博士(法学)
		刑事人権論Ⅰ 【隔年】 刑事人権論Ⅱ 【隔年】 沖縄戦後刑法史Ⅰ 【隔年】 沖縄戦後刑法史Ⅱ 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	徳田 博人 (59) <令和4年4月> 修士(法学)
		行政法A 【隔年】 行政法B 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	島袋 純 (60) <令和4年4月> 博士(政治学)
		沖縄・島嶼と地域共創 ※ 公共社会基礎 ※ 現代沖縄史 【隔年】 自治研究 【隔年】 沖縄政治行政研究Ⅰ 【隔年】 沖縄政治行政研究Ⅱ 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	山口 剛史 (50) <令和4年4月> 修士(教育学)
		公共社会基礎 ※ 平和教育学Ⅰ 【隔年】 平和教育学Ⅱ 【隔年】 地域学習論Ⅰ 【隔年】 地域学習論Ⅱ 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	森川 恭剛 (55) <令和4年4月> 博士(法学)
		刑事人権論Ⅰ 【隔年】 刑事人権論Ⅱ 【隔年】 沖縄戦後刑法史Ⅰ 【隔年】 沖縄戦後刑法史Ⅱ 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	徳田 博人 (59) <令和4年4月> 修士(法学)
		行政法A 【隔年】 行政法B 【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高田 清恵 (51) <令和4年4月> 修士(法学)
		社会保障法特論A【隔年】 社会保障法特論B【隔年】 社会保障法特論C【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	水野 良也 (60) <令和4年4月> 文学修士
		公共社会基礎 ※ 社会福祉方法論Ⅰ 社会福祉方法論Ⅱ
専	教授	本村 真 (52) <令和4年4月> 博士(医学)
		SDGsと地域共創 ※ 公共社会基礎 ※ 協働実践 持続社会支援論A 持続社会支援論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	鈴木 規之 (62) <令和4年4月> 博士(社会学)
		公共社会基礎 ※ 国際社会学A 国際社会学B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	越智 正樹 (46) <令和4年4月> 博士(農学)
		研究リテラシー ※ 観光・交流と地域共創 ※ 観光地域社会学 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高田 清恵 (51) <令和4年4月> 修士(法学)
		社会保障法特論A【隔年】 社会保障法特論B【隔年】 社会保障法特論C【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	水野 良也 (60) <令和4年4月> 文学修士
		公共社会基礎 ※ 社会福祉方法論Ⅰ 社会福祉方法論Ⅱ
専	教授	本村 真 (52) <令和4年4月> 博士(医学)
		SDGsと地域共創 ※ 公共社会基礎 ※ 協働実践 持続社会支援論A 持続社会支援論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	鈴木 規之 (62) <令和4年4月> 博士(社会学)
		公共社会基礎 ※ 国際社会学A 国際社会学B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	越智 正樹 (46) <令和4年4月> 博士(農学)
		研究リテラシー ※ 観光・交流と地域共創 ※ 観光地域社会学 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	遠藤 洋志 (53) <令和4年4月> 博士(医学)
		身体発達科学特論Ⅰ 身体発達科学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	宮城 政也 (55) <令和4年4月> 修士(体育学)
		公共社会基礎 ※ 健康心理・行動学特論Ⅰ 健康心理・行動学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	三輪 一義 (56) <令和4年4月> 体育学修士
		運動指導支援特論Ⅰ 運動指導支援特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	越野 泰成 (54) <令和4年4月> 修士(経済学)
		ミクロ経済学 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	岩橋 培樹 (45) <令和4年4月> 博士(経済学)
		経済経営基礎 ※ マクロ経済学 マクロ経済分析 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	遠藤 洋志 (53) <令和4年4月> 博士(医学)
		身体発達科学特論Ⅰ 身体発達科学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	宮城 政也 (55) <令和4年4月> 修士(体育学)
		公共社会基礎 ※ 健康心理・行動学特論Ⅰ 健康心理・行動学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	三輪 一義 (56) <令和4年4月> 体育学修士
		運動指導支援特論Ⅰ 運動指導支援特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	越野 泰成 (55) <令和4年4月> 修士(経済学)
		ミクロ経済学 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	岩橋 培樹 (45) <令和4年4月> 博士(経済学)
		経済経営基礎 ※ マクロ経済学 マクロ経済分析 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瀬口 浩一 (46) <令和4年4月> 博士(経済学)
		研究リテラシー ※ 沖縄・島嶼と地域共創 ※ 財政学特論 地方財政論特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	李 好根 (63) <令和4年4月> 経済学修士
		現代金融特論 金融システム特論 情報処理特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	高畑 明尚 (60) <令和4年4月> 修士(経済学)
		現代社会システム理論特論 現代社会システム理論演習 社会政策特論 社会政策演習
専	教授	徳島 武 (58) <令和4年4月> 経済学修士
		国際経済政策特論 国際経済政策演習 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	杉田 勝弘 (58) <令和4年4月> Ph. D. in Economics (英国)
		統計学特論 計量経済学特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瀬口 浩一 (46) <令和4年4月> 博士(経済学)
		研究リテラシー ※ 沖縄・島嶼と地域共創 ※ 財政学特論 地方財政論特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	李 好根 (63) <令和4年4月> 経済学修士
		現代金融特論 金融システム特論 情報処理特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	高畑 明尚 (60) <令和4年4月> 修士(経済学)
		現代社会システム理論特論 現代社会システム理論演習 社会政策特論 社会政策演習 実践社会政策特論
専	教授	徳島 武 (58) <令和4年4月> 経済学修士
		国際経済政策特論 国際経済政策演習 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	杉田 勝弘 (58) <令和4年4月> Ph. D. in Economics (英国)
		統計学特論 計量経済学特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	王 怡人 (57) <令和4年4月> 博士(商学)
		経済経営基礎 ※ マーケティング研究 マーケティング・コミュニケーション研究 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	知念 肇 (62) <令和4年4月> 修士(商学)
		経済経営基礎 ※ サプライチェーン・マネジメント 日本流通特論
専	教授	桑原 和典 (52) <令和4年4月> 修士(商学)
		経済経営基礎 ※ ファイナンス論基礎 ファイナンス論応用
専	教授	金城 盛彦 (57) <令和4年4月> 博士(学術)
		観光統計・経済論Ⅰ 観光統計・経済論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	橋本 俊作 (63) <令和4年4月> 博士(観光学)
		経済経営基礎 ※ サービスマネジメント論Ⅰ サービスマネジメント論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	王 怡人 (57) <令和4年4月> 博士(商学)
		経済経営基礎 ※ マーケティング研究 マーケティング・コミュニケーション研究 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	知念 肇 (62) <令和4年4月> 修士(商学)
		経済経営基礎 ※ サプライチェーン・マネジメント 日本流通特論
専	教授	桑原 和典 (52) <令和4年4月> 修士(商学)
		経済経営基礎 ※ ファイナンス論基礎 ファイナンス論応用
専	教授	金城 盛彦 (57) <令和4年4月> 博士(学術)
		観光統計・経済論Ⅰ 観光統計・経済論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	橋本 俊作 (63) <令和4年4月> 博士(観光学)
		経済経営基礎 ※ サービスマネジメント論Ⅰ サービスマネジメント論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	寺石 悦章 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		言語表象基礎 ※ 哲学の人間学A 哲学の人間学B 哲学の人間学C 哲学の人間学D 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	久高 将晃 (48) <令和4年4月> 博士(学術)
		理論哲学A 理論哲学B 実践哲学A 実践哲学B 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	長谷川 裕 (60) <令和4年4月> 社会学修士
		教育人間学・社会学A 教育人間学・社会学B 教育人間学・社会学C 教育人間学・社会学D 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	小屋敷 琢己 (54) <令和4年4月> 修士(文化科学)
		倫理学A 倫理学B 倫理学C 倫理学D 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	寺石 悦章 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		言語表象基礎 ※ 哲学の人間学A 哲学の人間学B 哲学の人間学C 哲学の人間学D 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	久高 将晃 (48) <令和4年4月> 博士(学術)
		理論哲学A 理論哲学B 実践哲学A 実践哲学B 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	長谷川 裕 (60) <令和4年4月> 社会学修士
		教育人間学・社会学A 教育人間学・社会学B 教育人間学・社会学C 教育人間学・社会学D 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	小屋敷 琢己 (54) <令和4年4月> 修士(文化科学)
		倫理学A 倫理学B 倫理学C 倫理学D 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉本 靖 (61) <令和4年4月> Ph.D. in Linguistics (米国)
		言語表象基礎 ※ 比較文法特論Ⅰ 比較文法特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	島袋 盛世 (57) <令和4年4月> Ph.D. in Linguistics (米国)
		音韻論Ⅰ 音韻論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	石原 昌英 (63) <令和4年4月> Ph.D. in Linguistics (米国)
		研究リテラシー ※ 沖縄・島嶼と地域共創 ※ 観光・交流と地域共創 ※ 言語権・言語政策特論A 言語権・言語政策特論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	東矢 光代 (55) <令和4年4月> 博士(総合社会文化)
		言語表象基礎 ※ 英語教育リサーチ論Ⅰ 英語教育リサーチ論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉本 靖 (61) <令和4年4月> Ph.D. in Linguistics (米国)
		言語表象基礎 ※ 比較文法特論Ⅰ 比較文法特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	島袋 盛世 (57) <令和4年4月> Ph.D. in Linguistics (米国)
		音韻論Ⅰ 音韻論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	石原 昌英 (63) <令和4年4月> Ph.D. in Linguistics (米国)
		研究リテラシー ※ 沖縄・島嶼と地域共創 ※ 観光・交流と地域共創 ※ 言語権・言語政策特論A 言語権・言語政策特論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	東矢 光代 (55) <令和4年4月> 博士(総合社会文化)
		言語表象基礎 ※ 英語教育リサーチ論Ⅰ 英語教育リサーチ論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮平 勝行 (58) <令和4年4月> Ph. D. in Speech Communication (米国)
		コミュニケーション研究特論 I コミュニケーション研究特論 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	金城(喜友名)尚美 (61) <令和4年4月> 修士(教育学)
		言語教育学特論 言語教育学演習 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	名嶋 義直 (56) <令和4年4月> 博士(文学)
		批判的談話研究特論A 批判的談話研究特論B 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	吉村 裕美 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		言語類型論 I 言語類型論 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	中本 謙 (51) <令和4年4月> 博士(学術)
		比較方言学特論A 比較方言学特論B 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮平 勝行 (58) <令和4年4月> Ph. D. in Speech Communication (米国)
		コミュニケーション研究特論 I コミュニケーション研究特論 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	金城(喜友名)尚美 (61) <令和4年4月> 修士(教育学)
		言語教育学特論 言語教育学演習 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	名嶋 義直 (56) <令和4年4月> 博士(文学)
		批判的談話研究特論A 批判的談話研究特論B 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	吉村 裕美 (58) <令和4年4月> 博士(文学)
		言語類型論 I 言語類型論 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	中本 謙 (51) <令和4年4月> 博士(学術)
		比較方言学特論A 比較方言学特論B 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	葦原 恭子 (59) <令和4年4月> 修士(教育学)
		多言語文化教育特論Ⅰ 多言語文化教育特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	石川 隆士 (56) <令和4年4月> 修士(文学)
		SDGsと地域共創 ※ 言語表象基礎 ※ イギリス文学表象論Ⅰ イギリス文学表象論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	喜納 育江 (55) <令和4年4月> Ph. D. in English (米国)
		観光・交流と地域共創 ※ SDGsと地域共創 ※ ポードー文化論Ⅰ ポードー文化論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	山城 新 (49) <令和4年4月> Ph. D. in English (米国)
		研究リテラシー ※ 環境文学Ⅰ 環境文学Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	鈴木 正士 (62) <令和4年4月> 博士(文学)
		スペイン文学特講A スペイン文学特講B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	葦原 恭子 (59) <令和4年4月> 修士(教育学)
		多言語文化教育特論Ⅰ 多言語文化教育特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	石川 隆士 (56) <令和4年4月> 修士(文学)
		SDGsと地域共創 ※ 言語表象基礎 ※ イギリス文学表象論Ⅰ イギリス文学表象論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	喜納 育江 (55) <令和4年4月> Ph. D. in English (米国)
		観光・交流と地域共創 ※ SDGsと地域共創 ※ ポードー文化論Ⅰ ポードー文化論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	山城 新 (49) <令和4年4月> Ph. D. in English (米国)
		研究リテラシー ※ 環境文学Ⅰ 環境文学Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	鈴木 正士 (62) <令和4年4月> 博士(文学)
		スペイン文学特講A スペイン文学特講B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	萩原 左人 (60) <令和4年4月> 文学修士
		民俗学A 民俗学B 現地研究 I 現地研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	後藤 雅彦 (56) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		物質交流史論A 物質交流史論B 現地研究 I 現地研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	稲村 務 (55) <令和4年4月> 博士(学術)
		文化人類学A 文化人類学B 現地研究 I 現地研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	大胡 太郎 (62) <令和4年4月> 教育学修士
		文化・環境基礎 ※ 日本古典文学特論 I 日本古典文学特論 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	萩原 左人 (60) <令和4年4月> 文学修士
		民俗学A 民俗学B 現地研究 I 現地研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	後藤 雅彦 (56) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		物質交流史論A 物質交流史論B 現地研究 I 現地研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	稲村 務 (55) <令和4年4月> 博士(学術)
		文化人類学A 文化人類学B 現地研究 I 現地研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	教授	大胡 太郎 (62) <令和4年4月> 教育学修士
		文化・環境基礎 ※ 日本古典文学特論 I 日本古典文学特論 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新城 郁夫 (55) <令和4年4月> 修士(文学)
		日本近代文学特論A 日本近代文学特論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	吳 世宗 (47) <令和4年4月> 博士(学術)
		朝鮮文学特論Ⅰ 朝鮮文学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	鳥山 淳 (50) <令和4年4月> 博士(社会学)
		近現代沖縄政治社会史特論Ⅰ 近現代沖縄政治社会史特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	辻 雄二 (60) <令和4年4月> 教育学修士
		地域言語文化特論Ⅰ 地域言語文化特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	松本 由香 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		琉球アジアくらし環境特論Ⅰ 琉球アジアくらし環境特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新城 郁夫 (55) <令和4年4月> 修士(文学)
		日本近代文学特論A 日本近代文学特論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	吳 世宗 (47) <令和4年4月> 博士(学術)
		朝鮮文学特論Ⅰ 朝鮮文学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	鳥山 淳 (50) <令和4年4月> 博士(社会学)
		近現代沖縄政治社会史特論Ⅰ 近現代沖縄政治社会史特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	辻 雄二 (60) <令和4年4月> 教育学修士
		地域言語文化特論Ⅰ 地域言語文化特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	松本 由香 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		琉球アジアくらし環境特論Ⅰ 琉球アジアくらし環境特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮内 久光 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		文化・環境基礎 ※ 島嶼空間特論A 島嶼空間特論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	廣瀬 孝 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		文化・環境基礎 ※ 島嶼水文環境論A 島嶼水文環境論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	藤田(坂本) 陽子 (59) ＜令和4年4月＞ 修士(環境科学)
		研究リテラシー ※ 沖縄・島嶼と地域共創 ※ SDGsと地域共創 ※ 文化・環境基礎 ※ 環境経済学特論A 環境経済学特論B 島嶼環境経済論A 島嶼環境経済論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	波多野 想 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光・交流と地域共創 ※ 島嶼文化資源論A 島嶼文化資源論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮内 久光 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		文化・環境基礎 ※ 島嶼空間特論A 島嶼空間特論B 島嶼人口特論A 島嶼人口特論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	廣瀬 孝 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		文化・環境基礎 ※ 島嶼水文環境論A 島嶼水文環境論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	藤田(坂本) 陽子 (59) ＜令和4年4月＞ 修士(環境科学)
		研究リテラシー ※ 沖縄・島嶼と地域共創 ※ SDGsと地域共創 ※ 文化・環境基礎 ※ 環境経済学特論A 環境経済学特論B 島嶼環境経済論A 島嶼環境経済論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	波多野 想 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光・交流と地域共創 ※ 島嶼文化資源論A 島嶼文化資源論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	畠中 雄平 (62) <令和4年4月> Doctor of Philosophy in Medical Science (フィンランド大)
		臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理学特論Ⅱ 精神医学特論(D) (①保健医療分野に関する理論と支援の展開) 心理学研究法特論 (A) ※ 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ (心理実践実習Ⅲ (⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ (⑩-1) 心理実践実習Ⅱ (⑩-2) 心理実践実習Ⅳ (⑩-4) 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	伊藤 義徳 (47) <令和4年4月> 修士 (人間科学)
		認知行動療法特論 (E) 心の健康教育特論 (⑨心の健康教育に関する理論と支援の展開) 心理学研究法特論 (A) ※ 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ (心理実践実習Ⅲ (⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ (⑩-1) 心理実践実習Ⅱ (⑩-2) 心理実践実習Ⅳ (⑩-4) 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	泊 真児 (49) <令和4年4月> 博士 (心理学)
		心理学統計法特論(A) コミュニティ心理学特論Ⅰ(C) コミュニティ心理学特論Ⅱ(C) 心理学研究法特論 (A) ※ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	畠中 雄平 (62) <令和4年4月> Doctor of Philosophy in Medical Science (フィンランド大)
		臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理学特論Ⅱ 精神医学特論(D) (①保健医療分野に関する理論と支援の展開) 心理学研究法特論 (A) ※ 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ (心理実践実習Ⅲ (⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ (⑩-1) 心理実践実習Ⅱ (⑩-2) 心理実践実習Ⅳ (⑩-4) 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	
専	教授	泊 真児 (49) <令和4年4月> 博士 (心理学)
		心理学統計法特論(A) コミュニティ心理学特論Ⅰ(C) コミュニティ心理学特論Ⅱ(C) 心理学研究法特論 (A) ※ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	廣瀬 等 (57) <令和4年4月> 博士(心理学)	専	教授	廣瀬 等 (57) <令和4年4月> 博士(心理学)
		学習心理学特論Ⅰ(B) 学習心理学特論Ⅱ(B) 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ			学習心理学特論Ⅰ(B) 学習心理学特論Ⅱ(B) 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	古川 卓 (55) <令和4年4月> 修士(教育学)	専	教授	古川 卓 (55) <令和4年4月> 修士(教育学)
		グループアプローチ特論Ⅰ(⑧) 家族関係・集団・地域社会における理論と支援の展開 グループアプローチ特論Ⅱ(E) 老年心理学特論(D) 心理学研究法特論(A)※ 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実習Ⅲ(⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ(⑩-1) 心理実践実習Ⅱ(⑩-2) 心理実践実習Ⅳ(⑩-4) 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ			グループアプローチ特論Ⅰ(⑧) 家族関係・集団・地域社会における理論と支援の展開 グループアプローチ特論Ⅱ(E) 老年心理学特論(D) 心理学研究法特論(A)※ 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実習Ⅲ(⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ(⑩-1) 心理実践実習Ⅱ(⑩-2) 心理実践実習Ⅳ(⑩-4) 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
			専任	教授	麻生 伸一 (41) <令和4年4月> 博士(学術)
					琉球近世史特論Ⅰ 琉球近世史特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	久保 慶明 (38) <令和4年4月> 博士(政治学)			
		公共社会基礎 ※ 現代政治分析A【隔年】 現代政治分析B【隔年】 行政学A【隔年】 行政学B【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ			

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	戸谷 義治 (40) <令和4年4月> 修士(法学)
		労働法A【隔年】 労働法B【隔年】 労働法C【隔年】 労働法D【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	三浦 毅 (56) <令和4年4月> 修士(法学)
		民事訴訟法特論Ⅰ【隔年】 民事訴訟法特論Ⅱ【隔年】 倒産処理法特論【隔年】 民事執行法特論【隔年】
専	准教授	比嘉 要 (57) <令和4年4月> 文学修士
		公共社会基礎 ※ 社会情報学Ⅰ 社会情報学Ⅱ
専	准教授	山根 清宏 (50) <令和4年4月> 博士(社会学)
		公共社会基礎 ※ 労働社会学A 労働社会学B
専	准教授	岡花 祈一郎 (41) <令和4年4月> 修士(教育学)
		公共社会基礎 ※ 子ども学特論Ⅰ 子ども学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	戸谷 義治 (40) <令和4年4月> 修士(法学)
		労働法A【隔年】 労働法B【隔年】 労働法C【隔年】 労働法D【隔年】 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	三浦 毅 (56) <令和4年4月> 修士(法学)
		民事訴訟法特論Ⅰ【隔年】 民事訴訟法特論Ⅱ【隔年】 倒産処理法特論【隔年】 民事執行法特論【隔年】
専	准教授	比嘉 要 (57) <令和4年4月> 文学修士
		公共社会基礎 ※ 社会情報学Ⅰ 社会情報学Ⅱ
専	准教授	山根 清宏 (50) <令和4年4月> 博士(社会学)
		公共社会基礎 ※ 労働社会学A 労働社会学B
専	准教授	岡花 祈一郎 (41) <令和4年4月> 修士(教育学)
		公共社会基礎 ※ 子ども学特論Ⅰ 子ども学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	笹澤 吉明 (53) <令和4年4月> 博士(医学)
		健康疫学特論Ⅰ 健康疫学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	砂川 力也 (41) <令和4年4月> 修士(体育科学)
		公共社会基礎 ※ 身体運動科学特論Ⅰ 身体運動科学特論Ⅱ 身体文化論
専	准教授	増澤 拓也 (43) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		運動学習支援特論Ⅰ 運動学習支援特論Ⅱ 健康文化論
専	准教授	堀 勝彦 (50) <令和4年4月> 博士(経済学)
		経済経営基礎 ※ マクロ経済学 マクロ経済分析 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	清水 政行 (40) <令和4年4月> 博士(学術)
		SDGsと地域共創 ※ 開発経済学特論 開発経済学演習 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	笹澤 吉明 (53) <令和4年4月> 博士(医学)
		健康疫学特論Ⅰ 健康疫学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	砂川 力也 (41) <令和4年4月> 修士(体育科学)
		公共社会基礎 ※ 身体運動科学特論Ⅰ 身体運動科学特論Ⅱ 身体文化論
専	准教授	増澤 拓也 (43) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		運動学習支援特論Ⅰ 運動学習支援特論Ⅱ 健康文化論
専	准教授	堀 勝彦 (50) <令和4年4月> 博士(経済学)
		経済経営基礎 ※ マクロ経済学 マクロ経済分析 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	教授	清水 政行 (40) <令和4年4月> 博士(学術)
		SDGsと地域共創 ※ 開発経済学特論 開発経済学演習 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高岡 慎 (47) <令和4年4月> 博士(経済学)
		研究リテラシー ※ 統計学特論 計量経済学特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	星野 高德 (40) <令和4年4月> 博士(商学)
		経済経営基礎 ※ 日本経済史特論 日本経済史演習 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	山田 健太 (41) <令和4年4月> 博士(理学)
		研究リテラシー ※ データサイエンス特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	石田 一之 (59) <令和4年4月> 経済学修士
		経済システムと政策分析特論 経済システムと政策分析演習
専	准教授	宮田 亮 (51) <令和4年4月> 博士(学術)
		金融論特論 現代貨幣理論
専	准教授	天野 智水 (51) <令和4年4月> 修士(学術)
		大学組織特論 大学教育マネジメント特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高岡 慎 (47) <令和4年4月> 博士(経済学)
		研究リテラシー ※ 統計学特論 計量経済学特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	星野 高德 (40) <令和4年4月> 博士(商学)
		経済経営基礎 ※ 日本経済史特論 日本経済史演習 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	山田 健太 (41) <令和4年4月> 博士(理学)
		研究リテラシー ※ データサイエンス特論 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	石田 一之 (60) <令和4年4月> 経済学修士
		経済システムと政策分析特論 経済システムと政策分析演習
専	准教授	宮田 亮 (51) <令和4年4月> 博士(学術)
		金融論特論 現代貨幣理論
専	准教授	天野 智水 (51) <令和4年4月> 修士(学術)
		大学組織特論 大学教育マネジメント特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	井川 浩輔 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		組織行動特論 人的資源管理特論
専	准教授	多賀 寿史 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		経済経営基礎 ※ 現代会計論 会計システム論
専	准教授	宮國 薫子 (59) ＜令和4年4月＞ Ph. D. in Park, Recreation and Tourism Resources (米国)
		観光・交流と地域共創 ※ 沖縄・島嶼と地域共創 ※ Sustainable Destination Management I Sustainable Destination Management II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	吉満 昭宏 (48) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		英米実践哲学 I 英米実践哲学 II 英米理論哲学 I 英米理論哲学 II
専	准教授	Davis Christopher Michael (40) ＜令和4年4月＞ Ph. D. in Linguistics (米国)
		意味論研究 I 意味論研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	高橋(三浦)美奈子 (50) ＜令和4年4月＞ M. A. in Linguistics (米国)
		日本語教育学特論A 日本語教育学特論B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	井川 浩輔 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		組織行動特論 人的資源管理特論
専	准教授	多賀 寿史 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		経済経営基礎 ※ 現代会計論 会計システム論
専	准教授	宮國 薫子 (59) ＜令和4年4月＞ Ph. D. in Park, Recreation and Tourism Resources (米国)
		観光・交流と地域共創 ※ 沖縄・島嶼と地域共創 ※ Sustainable Destination Management I Sustainable Destination Management II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	吉満 昭宏 (48) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		英米実践哲学 I 英米実践哲学 II 英米理論哲学 I 英米理論哲学 II
専	准教授	Davis Christopher Michael (40) ＜令和4年4月＞ Ph. D. in Linguistics (米国)
		意味論研究 I 意味論研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	高橋(三浦)美奈子 (50) ＜令和4年4月＞ M. A. in Linguistics (米国)
		日本語教育学特論A 日本語教育学特論B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	望月 道浩 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		図書館情報メディア特論A 図書館情報メディア特論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	呉屋 英樹 (49) ＜令和4年4月＞ Ph.D. in Applied Linguistics (米国)
		英語教育のための応用言語学Ⅰ 英語教育のための応用言語学Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	金城(倉田)ひろみ (44) ＜令和4年4月＞ 修士(中国語学)
		中国語教育学特論Ⅰ 中国語教育学特論Ⅱ
専	准教授	小林 正臣 (50) ＜令和4年4月＞ Ph.D. in English (米国)
		比較文学Ⅰ 比較文学Ⅱ
専	准教授	Spree. Titus (55) ＜令和4年4月＞ Architecture Dipl. Ing. Arch. (独国)
		クリエイティブ・エリア・スタ ディーズ ソーシャリー・エンゲイジド・ アート 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	加瀬 保子 (51) ＜令和4年4月＞ Ph.D. in English (米国)
		ヘルス・ヒューマニティーズ 医学と文学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	望月 道浩 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		図書館情報メディア特論A 図書館情報メディア特論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	呉屋 英樹 (49) ＜令和4年4月＞ Ph.D. in Applied Linguistics (米国)
		英語教育のための応用言語学Ⅰ 英語教育のための応用言語学Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	金城(倉田)ひろみ (44) ＜令和4年4月＞ 修士(中国語学)
		中国語教育学特論Ⅰ 中国語教育学特論Ⅱ
専	准教授	小林 正臣 (50) ＜令和4年4月＞ Ph.D. in English (米国)
		比較文学Ⅰ 比較文学Ⅱ
専	准教授	Spree. Titus (55) ＜令和4年4月＞ Architecture Dipl. Ing. Arch. (独国)
		クリエイティブ・エリア・スタ ディーズ ソーシャリー・エンゲイジド・ アート 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	加瀬 保子 (51) ＜令和4年4月＞ Ph.D. in English (米国)
		ヘルス・ヒューマニティーズ 医学と文学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山里 絹子 (43) <令和4年4月> Ph.D. in Sociology (米国)
		アメリカ研究A アメリカ研究B
専	准教授	池上 大祐 (43) <令和4年4月> 博士(比較社会文化)
		文化・環境基礎 ※ 西洋史学A 西洋史学B 史料学研究 I 史料学研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	神谷 智昭 (47) <令和4年4月> 修士(社会学)
		文化・環境基礎 ※ 東アジア社会人類学A 東アジア社会人類学B 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	前村 佳幸 (51) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		東洋史学A 東洋史学B 史料学研究 I 史料学研究 II
専	准教授	高橋 そよ (45) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		観光・交流と地域共創 ※ 琉球民俗学特論 I 琉球民俗学特論 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山里 絹子 (43) <令和4年4月> Ph.D. in Sociology (米国)
		アメリカ研究A アメリカ研究B
専	准教授	池上 大祐 (43) <令和4年4月> 博士(比較社会文化)
		文化・環境基礎 ※ 西洋史学A 西洋史学B 史料学研究 I 史料学研究 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	神谷 智昭 (47) <令和4年4月> 修士(社会学)
		文化・環境基礎 ※ 東アジア社会人類学A 東アジア社会人類学B 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV
専	准教授	前村 佳幸 (51) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		東洋史学A 東洋史学B 史料学研究 I 史料学研究 II
専	准教授	高橋 そよ (46) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		観光・交流と地域共創 ※ 琉球民俗学特論 I 琉球民俗学特論 II 地域共創特別演習 I 地域共創特別演習 II 地域共創特別演習 III 地域共創特別演習 IV

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	當山 奈那 (34) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		琉球方言学特論Ⅰ 琉球方言学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	大瀧 郁子 (49) ＜令和4年4月＞ 修士(政治学)
		沖縄近現代史特論Ⅰ 沖縄近現代史特論Ⅱ
専	准教授	平良 妙子 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		中国文学特論Ⅰ 中国文学特論Ⅱ
専	准教授	前城 淳子 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		琉球文学特論Ⅰ 琉球文学特論Ⅱ
専	准教授	中村 春菜 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		中琉関係史特論Ⅰ 中琉関係史特論Ⅱ
専	准教授	花木 宏直 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		島嶼人口特論A 島嶼人口特論B
専	准教授	羽田 麻美 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(地理学)
		沖縄・島嶼と地域共創 ※ 島嶼地表環境論A 島嶼地表環境論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	當山 奈那 (34) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		琉球方言学特論Ⅰ 琉球方言学特論Ⅱ 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	大瀧 郁子 (49) ＜令和4年4月＞ 修士(政治学)
		沖縄近現代史特論Ⅰ 沖縄近現代史特論Ⅱ
専	准教授	平良 妙子 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		中国文学特論Ⅰ 中国文学特論Ⅱ
専	准教授	前城 淳子 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		琉球文学特論Ⅰ 琉球文学特論Ⅱ
専	准教授	中村 春菜 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		中琉関係史特論Ⅰ 中琉関係史特論Ⅱ
専	准教授	
専	准教授	羽田 麻美 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(地理学)
		沖縄・島嶼と地域共創 ※ 島嶼地表環境論A 島嶼地表環境論B 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	屋宜(比嘉)智恵美 (55) <令和4年4月> Ph. D. in Tourism (豪州)
		島嶼旅行者行動論
専	准教授	宜野座 綾乃 (46) <令和4年4月> Ph. D in American Studies (米国)
		沖縄・島嶼と地域共創 ※ ネイティブの表象文化論
専	准教授	金城 志麻 (49) <令和4年4月> 修士(人間環境学)
		臨床心理査定演習Ⅰ (⑥心理ア セスメントに関する理論と実 践)
		障害者(児)心理学特論(②福 祉分野に関する理論と支援の展 開)
		臨床心理学基礎実習Ⅰ
		臨床心理学基礎実習Ⅱ
		臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実 習Ⅲ(⑩-3))
		臨床心理学実習Ⅱ
		心理実践実習Ⅰ(⑩-1)
		心理実践実習Ⅱ(⑩-2)
		心理実践実習Ⅳ(⑩-4)
専	准教授	草野 智洋 (43) <令和4年4月> 博士(人間科学)
		臨床心理面接特論Ⅰ(⑦心理支 援に関する理論と実践)
		臨床心理面接特論Ⅱ
		臨床心理学基礎実習Ⅰ
		臨床心理学基礎実習Ⅱ
		臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実 習Ⅲ(⑩-3))
		心理実践実習Ⅰ(⑩-1)
		心理実践実習Ⅱ(⑩-2)
		心理実践実習Ⅳ(⑩-4)
		地域共創特別演習Ⅰ
		地域共創特別演習Ⅱ
		地域共創特別演習Ⅲ
		地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	屋宜(比嘉)智恵美 (55) <令和4年4月> Ph. D. in Tourism (豪州)
		島嶼旅行者行動論
専	准教授	宜野座 綾乃 (46) <令和4年4月> Ph. D in American Studies (米国)
		沖縄・島嶼と地域共創 ※ ネイティブの表象文化論
専	准教授	金城 志麻 (49) <令和4年4月> 修士(人間環境学)
		臨床心理査定演習Ⅰ (⑥心理ア セスメントに関する理論と実 践)
		障害者(児)心理学特論(②福 祉分野に関する理論と支援の展 開)
		臨床心理学基礎実習Ⅰ
		臨床心理学基礎実習Ⅱ
		臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実 習Ⅲ(⑩-3))
		臨床心理学実習Ⅱ
		心理実践実習Ⅰ(⑩-1)
		心理実践実習Ⅱ(⑩-2)
		心理実践実習Ⅳ(⑩-4)
専	准教授	草野 智洋 (43) <令和4年4月> 博士(人間科学)
		臨床心理面接特論Ⅰ(⑦心理支 援に関する理論と実践)
		臨床心理面接特論Ⅱ
		臨床心理学基礎実習Ⅰ
		臨床心理学基礎実習Ⅱ
		臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実 習Ⅲ(⑩-3))
		心理実践実習Ⅰ(⑩-1)
		心理実践実習Ⅱ(⑩-2)
		心理実践実習Ⅳ(⑩-4)
		地域共創特別演習Ⅰ
		地域共創特別演習Ⅱ
		地域共創特別演習Ⅲ
		地域共創特別演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中 寛二 (60) <令和4年4月> 修士(教育学)
専	准教授	犯罪心理学特論 (C) (④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) 産業心理学特論 (⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ (心理実践実習Ⅲ (⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ (⑩-1) 心理実践実習Ⅱ (⑩-2) 心理実践実習Ⅳ (⑩-4)
専	准教授	淡野 将太 (38) <令和4年4月> 博士(心理学)
専	准教授	教育心理学特論Ⅰ (B) 教育心理学特論Ⅱ (B)
専	准教授	中尾 達馬 (46) <令和4年4月> 博士(心理学)
専	准教授	発達心理学特論Ⅰ (B) 発達心理学特論Ⅱ (B) 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	高良 美樹 (60) <令和4年4月> 修士(心理学)
専	准教授	社会心理学特論Ⅰ (C) 社会心理学特論Ⅱ (C) 心理学研究法特論 (A)※
専	講師	山元 淑乃 (47) <令和4年4月> 博士(教育学)
専	講師	言語教育における質的研究Ⅰ 言語教育における質的研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中 寛二 (60) <令和4年4月> 修士(教育学)
専	准教授	犯罪心理学特論 (C) (④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) 産業心理学特論 (⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ (心理実践実習Ⅲ (⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ (⑩-1) 心理実践実習Ⅱ (⑩-2) 心理実践実習Ⅳ (⑩-4)
専	准教授	淡野 将太 (38) <令和4年4月> 博士(心理学)
専	准教授	教育心理学特論Ⅰ (B) 教育心理学特論Ⅱ (B)
専	准教授	中尾 達馬 (46) <令和4年4月> 博士(心理学)
専	准教授	発達心理学特論Ⅰ (B) 発達心理学特論Ⅱ (B) 地域共創特別演習Ⅰ 地域共創特別演習Ⅱ 地域共創特別演習Ⅲ 地域共創特別演習Ⅳ
専	准教授	高良 美樹 (60) <令和4年4月> 修士(心理学)
専	准教授	社会心理学特論Ⅰ (C) 社会心理学特論Ⅱ (C) 心理学研究法特論 (A)※
専	准教授	山元 淑乃 (47) <令和4年4月> 博士(教育学)
専	准教授	言語教育における質的研究Ⅰ 言語教育における質的研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	山極 海嗣 (36) <令和4年4月> 博士(学術)
		沖縄・島嶼と地域共創 ※ 島嶼人類学A 島嶼人類学B
専	講師	田場 あゆみ (51) <令和4年4月> 修士(学術)
		学校臨床心理学特論Ⅰ(③教育分野に関する理論と支援の展開) 学校臨床心理学特論Ⅱ(E) 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実習Ⅲ(⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ(⑩-1) 心理実践実習Ⅱ(⑩-2) 心理実践実習Ⅳ(⑩-4)
兼担	教授	久保田 光昭 (61) <令和4年4月> 法学修士
		商法特論A【隔年】 商法特論B【隔年】
兼担	教授	矢野(齋藤) 恵美 (56) <令和4年4月> 修士(法学)
		刑事政策Ⅰ【隔年】 刑事政策Ⅱ【隔年】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	山極 海嗣 (36) <令和4年4月> 博士(学術)
		沖縄・島嶼と地域共創 ※ 島嶼人類学A 島嶼人類学B
専	講師	田場 あゆみ (51) <令和4年4月> 修士(学術)
		学校臨床心理学特論Ⅰ(③教育分野に関する理論と支援の展開) 学校臨床心理学特論Ⅱ(E) 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実習Ⅲ(⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ(⑩-1) 心理実践実習Ⅱ(⑩-2) 心理実践実習Ⅳ(⑩-4)
専	講師	橋本 光平 (31) <令和4年5月> 博士(心理学)
		認知行動療法特論(E) 心の健康教育特論(⑨心の健康教育に関する理論と支援の展開) 心理学研究法特論(A) ※ 臨床心理学基礎実習Ⅰ 臨床心理学基礎実習Ⅱ 臨床心理学実習Ⅰ(心理実践実習Ⅲ(⑩-3)) 臨床心理学実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ(⑩-1) 心理実践実習Ⅱ(⑩-2) 心理実践実習Ⅳ(⑩-4)
兼担	教授	久保田 光昭 (61) <令和4年4月> 法学修士
		商法特論A【隔年】 商法特論B【隔年】
兼担	教授	矢野(齋藤) 恵美 (57) <令和4年4月> 修士(法学)
		刑事政策Ⅰ【隔年】 刑事政策Ⅱ【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	木村 亮介 (47) <令和4年4月> 博士(理学)
		形質人類学A 形質人類学B
兼任	講師	遠藤 光男 (66) <令和4年4月> 博士(文学)
		認知心理学特論(B)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	木村 亮介 (47) <令和4年4月> 博士(理学)
		形質人類学A 形質人類学B
兼任	講師	遠藤 光男 (66) <令和4年4月> 博士(文学)
		認知心理学特論(B)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・伊藤義徳教授、他大学への転出のため就任辞退。・久保慶明准教授、他大学への転出のため就任辞退。・花木宏直准教授、他大学への転出のため就任辞退。・令和4年4月、麻生伸一教授就任。・令和4年4月、准教授から教授に昇任（戸谷義治、清水政行）。・令和4年4月、講師から准教授に昇任（山元淑乃）。・令和4年5月、橋本光平講師就任。
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時における 設置基準上の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
63	49	3	0	115	0	65	46	3	0	114	0
(65)	(46)	(3)	0	(114)	0						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
79	0	36				78	0	36			
(78)	0	(36)	/			(78)	0	(36)	/		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
65	46	3	0	114	0	65	46	3	0	114	0
[2]	[△3]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[2]	[△3]	[0]	[0]	[△1]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
78	0	36				78	0	36			
[△1]	[0]	[0]	/			[△1]	[0]	[0]	/		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{114}{115} = \boxed{99.13} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{114} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	伊藤 義徳	R4.3	選択	認知行動療法特論 (E)	①	R4.3.31付け辞任 (R4.4.1付け他大学教授就任のため) (R4)						
				選択	心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践の展開)	①							
				選択	心理学研究法特論 (A) ※	①							
				必修	臨床心理学基礎実習 I	①							
				必修	臨床心理学基礎実習 II	①							
				必修	臨床心理学実習 I (心理実践実習 II (9-3))	①							
				必修	臨床心理学実習 II	①							
				選択	心理実践実習 I (10-1)	①							
				選択	心理実践実習 II (10-2)	①							
				選択	心理実践実習 IV (10-4)	①							
				必修	地域共創特別演習 I	①							
				必修	地域共創特別演習 II	①							
				必修	地域共創特別演習 III	①							
必修	地域共創特別演習 IV	①											
2	准教授	久保 慶明	R4.3	選択	公共社会基礎 ※	①	R4.3.31付け辞任 (R4.4.1付け他大学教授就任のため) (R4)						
				選択	現代政治分析A 【隔年】	①							
				選択	現代政治分析B 【隔年】	①							
				選択	行政学A 【隔年】	①							
				選択	行政学B 【隔年】	①							
				必修	地域共創特別演習 I	①							
				必修	地域共創特別演習 II	①							
				必修	地域共創特別演習 III	①							
3	准教授	花木 宏直	R4.3	選択	島嶼人口特論A	①	R4.3.31付け辞任 (R4.4.1付け他大学准教授就任のため) (R4)						
				選択	島嶼人口特論B	①							
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
3	人	必修	12	科目	必修	12	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	13	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	25	科目	計	25	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		「該当なし」							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	12 科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	13 科目	選択	13 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	25 科目	計	25 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{115} = \boxed{2.6} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		「該当なし」					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

伊藤教授、久保准教授及び花木准教授の就任辞退 (未就任) は、これら教員が担当予定であった科目の実施前のことであったため、時間割編成に支障を来すことはなく、訂正等を学生に周知する必要はなかった。また、これら教員の担当予定であった科目については、現専任教員間で担当計画を見直した上で実施するため、学生の履修等への影響はない。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	該当なし	履行中	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<地域共創研究科 地域共創専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数	① 変更なし
② 施設・設備	② 変更なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【琉球大学大学院地域共創研究科各種委員会規程（抜粋）】 （設置） 第1条 琉球大学大学院地域共創研究科（以下「本研究科」という。）に、本研究科の管理運営を円滑に行うため、別表に掲げる委員会（以下「各種委員会」という。）を置く。 （※委員会名称のみ記載） ○プログラム運営委員会 ●教務委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和4年度：毎月1回程度</p> <p>c 委員会の審議事項等 研究科の教務に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ハラスメントに関するFD（予定）</p> <p>b 実施方法 教育改善への組織的な取組みの一環として、教授会開催時に実施予定。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和4年度中に開催予定。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 該当なし</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 検討中。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 検討中。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究は、現代の地域社会及びグローバル社会の直面する多様な課題を俯瞰的に理解し、地域が今日直面する課題を解決するための具体的な方法を、それぞれが立脚する専門的見地から究明し、その解決に向けて主体的に行動できる実践力と高い研究倫理観を有する高度専門職業人の養成のために、令和4年4月に予定どおり設置された。入試も特に問題はなく、定員を満たしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表 (予定) 時期

・令和5年6月までに公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和5年度に認証評価機関 (独立行政法人大学改革支援・学位授与機構) の評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更 (又は未実施) の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。